

表 30. 薬剤師から提供して欲しい薬剤情報(複数回答可)

	項目	人数	割合
1	薬の名前	148	49.2%
2	薬剤の特徴	161	53.5%
3	薬理作用、作用機序	170	56.5%
4	効能・効果	192	63.8%
5	用法・用量	118	39.2%
6	薬物体内動態	124	41.2%
7	薬価(薬の値段)	87	28.9%
8	薬剤の管理方法	67	22.3%
9	薬物相互作用・禁忌	183	60.8%
10	緊急安全性情報	136	45.2%
11	注意すべき副作用	201	66.8%
12	副作用の発現頻度	107	35.5%
13	副作用が発現した時の対処法	173	57.5%
14	効果発現までの時間	88	29.2%
15	腎・肝機能障害時の投与量	89	29.6%
16	催奇形成のカテゴリー	47	15.6%
17	高齢者への投与量	62	20.6%
18	治療成績	83	27.6%
19	再発のリスク	124	41.2%
20	服薬中止時に注意すべきこと	127	42.2%
21	薬が効いているのか	106	35.2%
22	副作用が出ていないのか	118	39.2%
23	薬の作用持続時間	107	35.5%

表 31. 医療従事者が薬剤師に求める患者に伝えるべき薬剤情報

ran kin g	精神保健福					
	医師	看護師	社士	作業療法士	臨床心理士	薬剤師
1	注意すべき副作用	効能・効果	効能・効果	効能・効果	効能・効果	効能・効果
2	効能・効果	注意すべき副作用	注意すべき副作用	注意すべき副作用	薬剤の特徴	薬の名前
3	薬の名前	薬物相互作用・禁忌	薬物相互作用・禁忌	薬剤の特徴	用法・用量	用法・用量
4	薬剤の特徴	薬剤の特徴	副作用が発現した時の対処法	用法・用量	薬物相互作用・禁忌	注意すべき副作用
5	用法・用量	副作用が発現した時の対処法	用法・用量	副作用が発現した時の対処法	副作用が発現した時の対処法	薬剤の特徴
6	薬物相互作用・禁忌	服薬中断時の注意事項	薬剤の特徴	薬の名前	注意すべき副作用	薬剤の管理方法
7	薬剤の管理方法	薬の名前	薬の名前	服薬中断時の注意事項	服薬中断時の注意事項	薬物相互作用・禁忌
8	服薬中断時の注意事項	用法・用量	服薬中断時の注意事項	薬物相互作用・禁忌	効果発現までの時間	服薬中断時の注意事項
9	副作用が発現した時の対処法 緊急安全性	薬の作用持続時間	効果発現までの時間	再発のリスク	薬の作用持続時間	副作用が発現した時の対処法
10	情報（イエローレター）	効果発現までの時間	薬の作用持続時間	薬の作用持続時間	薬の名前	効果発現までの時間

表 32. 家族・当事者、入院患者が薬剤師に求める薬剤情報

rank	家族	当事者	入院患者	薬剤師
1	注意すべき副作用は何か	注意すべき副作用	効能・効果	効能・効果
2	他の薬との飲み合わせ	効能・効果	薬の名前	薬の名前
3	効能・効果	他の薬との飲み合わせ	注意すべき副作用	用法・用量
4	副作用が発現した時の対処法	薬理作用・作用機序	薬理作用・作用機序	注意すべき副作用
5	薬剤の特徴	副作用が発現した時の対処法	他の薬との飲み合わせ	薬剤の特徴
6	薬理作用・作用機序	薬剤の特徴	副作用が発現した時の対処法	薬剤の管理方法
7	薬の名前	緊急安全性情報	薬剤の特徴	薬物相互作用・禁忌
8	緊急安全性情報	服薬をやめる時に注意すべきことは何か	用法・用量	服薬中断時の注意事項
9	再発のリスクについて	薬の名前	再発のリスクについて	副作用が発現した時の対処法
10	薬物体内動態	副作用が出ていないのか	薬物体内動態	効果発現までの時間

## 別添資料(アンケート用紙)

<薬剤師用>

### 薬剤師による薬剤情報の提供内容についてのアンケート調査

以下の質問事項について、回答は該当する項目に○を囲んで下さい。

#### 1. あなた自身についてお尋ねします。

##### 1) 年齢

①30歳未満 ②30～39歳 ③40～49歳 ④50歳以上

##### 2) 精神科での経験年数

①5年未満 ②5年～10年 ③11年～15年 ④16年以上

#### 2. あなたが医師・看護師に提供すべきと考える薬剤情報はどれですか？

##### <薬剤の基本情報>

- |              |        |        |              |
|--------------|--------|--------|--------------|
| 1) 薬剤の特徴     | (1. いる | 2. いない | 3. どちらでもよい)  |
| 2) 薬理作用、作用機序 | (1. いる | 2. いない | 3. どちらでもよい ) |
| 3) 効能・効果     | (1. いる | 2. いない | 3. どちらでもよい ) |
| 4) 用法・用量     | (1. いる | 2. いない | 3. どちらでもよい ) |
| 5) 薬物体内動態    | (1. いる | 2. いない | 3. どちらでもよい ) |
| 6) 薬価        | (1. いる | 2. いない | 3. どちらでもよい ) |
| 7) 薬剤の管理方法   | (1. いる | 2. いない | 3. どちらでもよい ) |

##### <臨床上重要となる薬剤情報>

- |                      |        |        |              |
|----------------------|--------|--------|--------------|
| 1). 薬物相互作用・禁忌        | (1. いる | 2. いない | 3. どちらでもよい)  |
| 2) 緊急安全性情報 (イエローレター) | (1. いる | 2. いない | 3. どちらでもよい ) |
| 3) 注意すべき副作用          | (1. いる | 2. いない | 3. どちらでもよい ) |
| 4) 副作用の発現頻度          | (1. いる | 2. いない | 3. どちらでもよい ) |
| 5) 副作用が発現した時の対処法     | (1. いる | 2. いない | 3. どちらでもよい ) |
| 6) 効果発現までの時間         | (1. いる | 2. いない | 3. どちらでもよい ) |
| 7) 腎・肝機能障害時の投与量      | (1. いる | 2. いない | 3. どちらでもよい ) |

- 8) 催奇形成 (妊婦・授乳婦) のカテゴリー  
 (1. いる 2. いない 3. どちらでもよい )
- 9) 高齢者への投与量 (1. いる 2. いない 3. どちらでもよい )
- 10) 治療成績 (エビデンス) (1. いる 2. いない 3. どちらでもよい )
- 11) 等価換算量 (1. いる 2. いない 3. どちらでもよい )
- 12) 薬の作用持続時間 (1. いる 2. いない 3. どちらでもよい )

<薬剤管理指導業務上で得た情報>

- 1) 効果の評価 (1. いる 2. いない 3. どちらでもよい )
- 2) 副作用の評価 (1. いる 2. いない 3. どちらでもよい )
- 3) 患者の薬物治療に対する意識  
 (1. いる 2. いない 3. どちらでもよい )
- 4) 患者のコンプライアンス\*1  
 (1. いる 2. いない 3. どちらでもよい )
- 5) 患者のアドヒアランス\*2 (1. いる 2. いない 3. どちらでもよい )

3. 患者さまに伝えるべき薬剤情報はどれですか？ (複数回答可)

<薬剤の基本情報>

- 1) 薬の名前
- 2) 薬剤の特徴
- 3) 薬理作用、作用機序
- 4) 効能・効果
- 5) 用法・用量
- 6) 薬物体内動態
- 7) 薬価
- 8) 薬剤の管理方法

<臨床上重要となる薬剤情報>

- 1) 薬物相互作用・禁忌
- 2) 緊急安全性情報 (イエローレター)
- 3) 注意すべき副作用
- 4) 副作用の発現頻度
- 5) 副作用が発現した時の対処法
- 6) 効果発現までの時間
- 7) 腎・肝機能障害患者に対しての注意事項
- 8) 催奇形成 (妊婦・授乳婦)

- 9) 高齢者へ薬物を投与する時の注意事項
- 10) 治療成績 (エビデンス)
- 11) 再発のリスク
- 12) 服薬中断時の注意事項
- 13) 薬の作用持続時間

＜医療従事者用＞

## 薬剤師による薬剤情報の提供内容についてのアンケート調査

以下の質問事項について、回答は該当する項目に○を囲んで下さい。

### 1. あなた自身についてお尋ねします。

#### 1) 職種

- ①医師 ②看護師 ③精神保健福祉士 ④作業療法士 ⑤臨床心理士

#### 2) 年齢

- ①20歳未満 ②20～29歳 ③30～39歳 ④40～49歳 ⑤50歳以上

#### 3) 精神科での経験年数

- ①5年未満 ②5年～10年 ③11年～15年 ④16年以上

### 2. あなたが薬剤師から提供して欲しい薬剤情報はどれですか？

#### ＜薬剤の基本情報＞

- |              |        |        |              |
|--------------|--------|--------|--------------|
| 1) 薬剤の特徴     | (1. いる | 2. いない | 3. どちらでもよい ) |
| 2) 薬理作用、作用機序 | (1. いる | 2. いない | 3. どちらでもよい ) |
| 3) 効能・効果     | (1. いる | 2. いない | 3. どちらでもよい ) |
| 4) 用法・用量     | (1. いる | 2. いない | 3. どちらでもよい ) |
| 5) 薬物体内動態    | (1. いる | 2. いない | 3. どちらでもよい ) |
| 6) 薬価        | (1. いる | 2. いない | 3. どちらでもよい ) |
| 7) 薬剤の管理方法   | (1. いる | 2. いない | 3. どちらでもよい ) |

#### ＜臨床上重要となる薬剤情報＞

- |                       |        |        |              |
|-----------------------|--------|--------|--------------|
| 2) 薬物相互作用・禁忌          | (1. いる | 2. いない | 3. どちらでもよい ) |
| 3) 緊急安全性情報 (イエローレーター) | (1. いる | 2. いない | 3. どちらでもよい ) |
| 4) 注意すべき副作用           | (1. いる | 2. いない | 3. どちらでもよい ) |

- 5) 副作用の発現頻度 (1. いる 2. いない 3. どちらでもよい )
- 6) 副作用が発現した時の対処法  
(1. いる 2. いない 3. どちらでもよい )
- 7) 効果発現までの時間 (1. いる 2. いない 3. どちらでもよい )
- 8) 腎・肝機能障害時の投与量  
(1. いる 2. いない 3. どちらでもよい )
- 9) 催奇形成 (妊婦・授乳婦) のカテゴリー  
(1. いる 2. いない 3. どちらでもよい )
- 10) 高齢者への投与量 (1. いる 2. いない 3. どちらでもよい )
- 10) 治療成績 (エビデンス) (1. いる 2. いない 3. どちらでもよい )
- 11) 等価換算量 (1. いる 2. いない 3. どちらでもよい )
- 12) 薬の作用持続時間 (1. いる 2. いない 3. どちらでもよい )

<薬剤管理指導業務上で得た情報>

- 1) 効果の評価 (1. いる 2. いない 3. どちらでもよい )
- 2) 副作用の評価 (1. いる 2. いない 3. どちらでもよい )
- 3) 患者の薬物治療に対する意識  
(1. いる 2. いない 3. どちらでもよい )
- 4) 患者のコンプライアンス\*1  
(1. いる 2. いない 3. どちらでもよい )
- 5) 患者のアドヒアランス\*2  
(1. いる 2. いない 3. どちらでもよい )

\*1 医療者の指示に患者がどの程度従うかという概念

\*2 患者が積極的に治療方針の決定に参加し、その決定に従って治療を受けることを意味する。

(日本薬学会薬学用語解説より)

3. 薬剤師から患者さまに伝えて欲しい薬剤情報はどれですか？

(複数回答可)

<薬剤の基本情報>

- 1) 薬の名前
- 2) 薬剤の特徴
- 3) 薬理作用、作用機序
- 4) 効能・効果
- 5) 用法・用量
- 6) 薬物体内動態
- 7) 薬価

## 8) 薬剤の管理方法

### <臨床上重要となる薬剤情報>

- 1) 薬物相互作用・禁忌
  - 2) 緊急安全性情報（イエローレター）
  - 3) 注意すべき副作用
  - 4) 副作用の発現頻度
  - 5) 副作用が発現した時の対処法
  - 6) 効果発現までの時間
  - 7) 腎・肝機能障害患者に対する注意事項
  - 8) 催奇形成（妊婦・授乳婦）
  - 9) 高齢者へ薬を投与する時の注意事項
  - 10) 治療成績（エビデンス）
    - 1 1) 再発のリスク
    - 1 2) 服薬中断時の注意事項
    - 1 3) 薬の作用持続時間
- 

### <ご家族・当事者用>

## 薬剤師による薬剤情報の提供内容についてのアンケート

以下の質問事項について、回答は該当する項目に○を囲んで下さい。

### 1. あなた自身についてお尋ねします。

- 1) ①当事者 ②ご家族
  - 2) 年齢
    - ①20歳未満 ②20～29歳 ③30～39歳 ④40～49歳 ⑤50歳以上
  - 3) 精神科病院にかかれて何年になりますか？
    - ①5年未満 ②5年～10年 ③11年～15年 ④16年以上
- \*：ご家族の場合、受診されている当事者の方の治療年数をお選び下さい。

### 2. あなたが薬剤師から提供して欲しい薬剤情報はどれですか？（複数回答可）

- 1) 薬の名前
- 2) 薬剤の特徴
- 3) 薬の作用、作用機序



- 4) 効能・効果
- 5) 用法・用量
- 6) 薬物体内動態 (薬がどのくらいの時間でどこから吸収され、代謝、排泄されるのか)
- 7) 薬価 (薬の値段)
- 8) 薬剤の管理方法
- 9) 他の薬との飲みあわせ (薬の相互作用・禁忌)
- 10) 緊急安全性情報 (重大な副作用報告)
- 11) 注意すべき副作用はなにか
- 12) 副作用の出現頻度はどれくらいか
- 13) 副作用が発現した時の対処法
- 14) 効果発現までの時間はどれくらいか
- 15) 腎・肝機能が障害しているがそのまま薬を飲み続けてよいか
- 16) 薬が妊娠や出産に影響を与えるのか
- 17) 高齢者に使用する時の注意事項
- 18) 薬の治療成績はどれくらいか (エビデンス)
- 19) 再発のリスク (危険性) について
- 20) 服薬をやめる時に注意すべきことはなにか
- 21) 薬が効いているのか
- 22) 副作用が出ていないのか
- 23) 薬の作用時間はどのくらいなのか

---

＜入院中の患者さま用＞

### 薬剤師による薬剤情報の提供内容についてのアンケート

以下の質問事項について回答は該当する項目に○を囲んで下さい。

1. あなた自身についてお尋ねします。

1) 年齢

①20歳未満    ②20～29歳    ③30～39歳    ④40～49歳    ⑤50歳以上

2) 精神科病院にかかれて何年になりますか？

①5年未満    ②5年～10年    ③11年～15年    ④16年以上

3) 今回の入院期間は現時点でどれくらいですか？

①1ヶ月未満    ②1～3ヶ月    ③4～6ヶ月    ④6ヶ月～1年  
⑤1年以上

2. あなたが薬剤師から提供して欲しい薬剤情報はどれですか？（複数回答可）

- 1) 薬の名前
- 2) 薬剤の特徴
- 3) 薬の作用、作用機序
- 4) 効能・効果
- 5) 用法・用量
- 6) 薬物体内動態（薬がどのくらいの時間でどこから吸収され、代謝、排泄されるのか）
- 7) 薬価（薬の値段）
- 8) 薬剤の管理方法
- 9) 他の薬との飲み合わせ（薬の相互作用・禁忌）
- 10) 緊急安全性情報（重大な副作用報告）
- 11) 注意すべき副作用はなにか
- 12) 副作用の出現頻度はどれくらいか
- 13) 副作用が発現した時の対処法
- 14) 効果発現までの時間はどれくらいか
- 15) 腎・肝機能が障害しているがこのまま薬を飲み続けてよいか
- 16) 薬が妊娠や出産に影響を与えるのか
- 17) 高齢者に使用する時の注意事項
- 18) 薬の治療成績はどれくらいか（エビデンス）
- 19) 再発のリスク（危険性）について
- 20) 服薬をやめる時に注意すべきことはなにか
- 21) 薬が効いているのか
- 22) 副作用が出ていないのか
- 23) 薬の作用時間はどのくらいなのか

## 研究者一欄

### 研究代表者

堀内 龍也 社団法人日本病院薬剤師会会長

### 分担研究者

坂巻 弘之 名城大学薬学部教授

亀井美和子 昭和大学薬学部教授

\* 厚田幸一郎 北里大学薬学部教授

\* 吉尾 隆 東邦大学薬学部教授

\*平成20年度の分担研究者

